

戦略経営管理セミナー

グローバル時代に求められる経営管理～実践と課題～

日時：2009年8月28日(金) 13:30～17:40 (13:00開場)

会場：富士通本社 汐留シティセンター24F 大会議室 〒105-7123 東京都港区東新橋1-5-2 汐留シティセンター

対象：経理・財務部門責任者、経営企画部門責任者等

定員：200名(定員になり次第、締切らせていただきます)

参加費：一般 5,000円 / 日本CFO協会個人・法人会員 3,000円

主催：日本CFO協会 / 富士通株式会社

P R O G R A M

13:40～14:30

不確実な経営環境にこそ、 新しい業績管理システムの構築を

清水 孝 氏

早稲田大学大学院会計研究科教授 博士(商学)早稲田大学

従来の業績管理システムは、計画値と実績値を比較し、その差異の分析を行いながらフィードバックを行っていくものであった。しかし、今日のような環境変化の激しい時代には、このようなシステムでは役に立たなくなっていることは間違いない。そもそも「業績」とは、売上高や利益の実績を指すものではない。売上高や利益の計画値を達成するために行うことこそ「業績」であり、求める結果を得るための業績のマネジメントこそ、あるべき業績管理の姿なのである。

14:30～15:20

セグメント会計にはじまる経営管理

松田千恵子 氏

ブーズ・アンド・カンパニー株式会社 ヴァイス・プレジデント / 日本CFO協会主任研究委員

グローバル資本市場は、経営者の管理会計の開示を要求している。資本市場やアナリストが分析のために知りたい情報もまさにグループ経営戦略とその会計情報に他ならない。企業経営の戦略を可視化し、会計言語で説明するという要請にこたえるために、いま企業財務は何をすべきなのか。グローバル経営のための戦略支援の実践こそがその答えであることを具体的に解説する。

15:30～16:20

コントローラの挑戦：戦略形成と資源配分

石橋善一郎 氏

日本トイザラス株式会社 代表取締役副社長 兼 最高財務責任者(CFO)

外資系企業でコントローラ及び最高財務責任者(CFO)としてのキャリアを築いてきた講演者が、「コントローラ」という仕事への熱き想いを語る。「ビジネス・パートナー」として事業部長に最も信頼される存在でありながら、不振事業からの撤退の決断を事業部長に迫るといふ、「コントローラ」の役割。そこには資源配分プロセスに規律を与え、新たな戦略の形成に貢献し、企業価値の増大をもたらすというコントローラの使命があった。

16:35～17:40

将来予測のための実践的「経営会計」の導入に向けて

モデレータ 中澤 進 氏 株式会社ビジネスブレイン太田昭和 会計システム研究所 所長 / 日本CFO協会主任研究委員

パネリスト 石橋善一郎 氏 日本トイザラス株式会社 代表取締役副社長 兼 最高財務責任者(CFO)

(五十音順) 清水 孝 氏 早稲田大学大学院会計研究科教授 博士(商学)早稲田大学

俵 一雄 氏 富士通株式会社 財務経理本部 テクニカルアドバイザー

米国金融危機に端を発する世界経済危機に加え、企業経営を取り巻く環境の激変に対する対処療法はない。厳しい経営環境に直面している今こそ、制度疲労を起こしている従来型の管理会計制度を脱却し、グローバルな観点より企業財務の担う役割を実践できる「経営会計」の導入を急がなければならない。そのためには何が必要なのか、様々な角度から議論を展開する。

主催

日本CFO協会

FUJITSU

申込締切：8月21日(金) **ご注意事項** ● テープレコーダーなどの記録機器の持ち込みはご遠慮ください。● テキスト、資料等は当日会場でお渡し致します。参加者以外の方にはお頒け致しません。● 参加される方のご都合の悪い場合は、代理の方のご出席をご考慮願います。

参加申し込み方法 **オンライン申し込みにてお手続きください** <http://www.cfo.jp/fassacademy/>

お問合せ先：FASSアカデミー事務局(日本CFO協会 事務局内) TEL:03-3556-2334 MAIL:seminar@cfo.jp HP: www.cfo.jp

※本プログラムの内容については予告なしに変更される場合がありますことを、予めご了承ください。